

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT



BANCO SUMITOMO MITSUI
BRASILEIRO S.A.

Treasury Department

マーケットサマリー

【為替】

8日夜にSTF(連邦最高裁判所)のルイス・ホベルト氏が「上院にCPI(議会調査委員会)を設置し、新型コロナウイルス感染拡大時の連邦政府による不正行為(連邦資金の流用等)の可能性について調査する」と発言したことで、政治の不透明感が拡大し、取引開始よりレアル安が進行。更に、3月IPCAインフレ率が市場予想比こそ下回ったものの、前年比6.10%と上昇継続となり中銀のインプターゲット上限(5.25%)を超えたことで、景気回復遅延の懸念が高まったことや、パウロ・ゲデス経済相が「予算修正案について、歳出上限が強制出来ない時が来るかもしれない」と発言したことで、財政悪化懸念も拡大し終日レアル安が止まらず、5.68レアル台で取引を終えた。

【株式】

前述のSTFのルイス・ホベルト氏の発言に因る政治の不透明感拡大から、ボベスパ指数は取引開始より下落。サンパウロ州が茲許のICU利用率の低下を主因に緊急フェーズからフェーズ1に一段階緩和すると発表したことを受け、新型コロナウイルス感染拡大の収束期待の高まりから一時上昇したものの、パウロ・ゲデス経済相の上記発言を受け、財政悪化懸念が拡大し117,000ポイントまで下落となった。

【その他】

- ・ブラジル3月IPCAインフレ率(前月比):0.93%(市場予想:1.03%、前月:0.86%)
(前年比):6.10%(市場予想:6.20%、前月:5.20%)
- ・米国:3月PPI(前月比):1.0%(市場予想:0.5%、前月:0.5%)

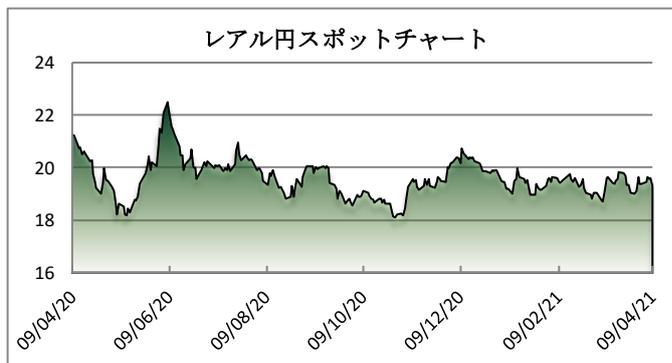
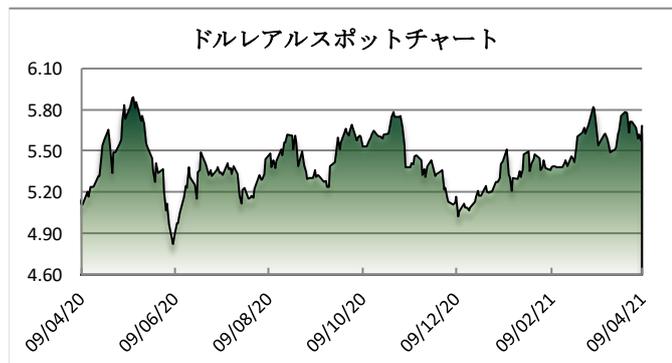
【COVID-19感染者総数(4/11時点)】

ブラジル全体:13,482,023人(前日比+37,017人)、サンパウロ州:2,643,534人(前日比+8,156人)

マーケットデータ

Indicator	Unit	4月8日	4月9日	4月9日		(年初来) 高値	(年初来) 安値	
				前日比	1ヶ月前比			
レアル	対ドル	BRL	5.5718	5.6845	-2.02%	2.28%	5.1210	5.8743
	対円	JPY	19.61	19.31	1.54%	-3.11%	20.09	18.48
	対ユーロ	BRL	6.6401	6.7623	-1.84%	1.87%	6.2961	6.9845
円	対ドル	JPY	109.26	109.67	-0.38%	-0.72%	102.59	110.97
	対ユーロ	JPY	130.18	130.51	-0.25%	-1.17%	125.09	130.69
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index	118,313	117,670	-0.54%	6.38%	125,324	107,319	
CDS Brazil 5yrs	bps	221.23	221.48	-0.11%	-2.89%	232.63	141.37	
Brazil 10yrs Gov. Bond	%	9.41	9.53	1.29%	10.52%	9.53	6.87	
DI Future Jan22 (金利先物)	%	4.660	4.725	1.39%	19.62%	4.89	2.82	
3 Months US Dollar Libor	%	0.18775	0.18750	-0.13%	2.74%	0.2413	0.1753	
CRB Index (国際商品指数)	Index	187.37	186.74	-0.33%	-2.88%	196.15	166.34	

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。